

環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 愛別地区

1. 事業の概要(案)

本地区は、小区画、不整形及び排水不良なほ場が多く、効率的な農作業が行えない状況にある。これらのことから、担い手への農地の利用集積が進まず、耕作放棄地が発生するおそれがある。

このため、本事業により区画整理を行い、農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 1, 400ha

◆主要工事計画 区画整理：1, 400ha

2. 愛別町の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

○愛別町は、遠くに大雪山連峰を見渡すことができ、町の中を多くの河川が流れている。その周辺には、のどかで自然豊かな田園風景が広がり通過する人々の心を和ませている。

《課題》

○町内を流下する石狩川や愛別川、これに連なる小河川が流れており、これら河川の生態系を崩すことなく整備することが求められている。

※愛別町田園環境整備マスタープランより

3. 環境配慮のための環境調査

◆環境保全の基本的な考え方

・「自然と調和するうるおいのあるまちづくり」を基本目標とし、大雪山連峰を遠くに望む農村景観、多くの動植物が生息・生育する自然環境、そして農業・農村が有する多面的機能を十分に考慮しながら、これら地域環境の保全に努め、自然と調和するうるおいのあるまちづくりを目指していく。

◆基本方針

・地区の自然生態系や動植物の生息、生育状況を把握するため、既往調査結果の活用及び現地調査を実施する。

・工事実施中における水質への影響の有無を確認するため、工事実施前のデータ収集として、水質調査を実施する。

◆環境調査内容

○調査項目 ①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・爬虫類

⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質

○調査方法 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法

鳥類：ポイントセンサス法

魚類：採捕調査

両生・爬虫類：目撃法

昆虫類：任意採集法、バイトトラップ法
ライトトラップ法

底生動物：定性採集調査

植物：植物相調査

水質：SS、濁度